

「支援物資物流システムの基本的な考え方」に関する アドバイザー会議

1. 設置の趣旨

「東日本大震災からの復興の基本方針（平成23年7月29日）」において、「類似災害に備えての倉庫、トラック…（中略）…等の事業者など民間のノウハウや施設の活用などソフト面を重視した災害ロジスティクスの構築」が謳われたことを踏まえ、「支援物資物流システムの基本的な考え方」（以下「基本的な考え方」という。）を策定することとしている。

このため、有識者からなるアドバイザー会議を開催し、支援物資について幅広く議論を行うこととし、会議の議論の結果を、基本的な考え方に反映させるものとする。

2. 構成員

（メンバー）

別紙参照

（オブザーバー）

有識者、関係行政機関

3. 進め方

下記の通り、有識者からなる会議を概ね月に1回のペースで開催し、検討を進める予定。この検討内容を基としながら、基本的な考え方について、とりまとめを行う。

第1回（9月22日）○ 東日本大震災における支援物資物流の問題点・課題の抽出

第2回（11月9日）○ 課題に対する改善策の検討

○ 「広域災害に対応し得る物流システム構築の提言」
（平成23年10月20日 社団法人日本物流団体連合会）の紹介

第3回（12月2日）○ 「支援物資物流システムの基本的考え方（案）」について

↓

平成23年内 ○ 「支援物資物流システムの基本的考え方」の策定